

令和 5 年度		1 学年	普通/商業 科		
教科名	英語	科目名	英語コミュニケーション I	普3商4 単位	
		担当者	長尾 謙		
<b>1. 学習目標</b>					
身近な話題を通して英語や異文化に対する理解を深めると共に、様々な文化や価値観に触れることでグローバルな視点を持つ豊かな人間性や社会性を育む。スピーキングやグループワーク、発表などを通じ、生徒の自主性や積極性を育て、4技能5領域の向上を図る。授業を通して基本的な英語力、学習習慣を身に付ける。					
<b>2. 使用教材等</b>					
・教科書名 Power On English communication I (東京書籍)					
・副教材名 Power On English communication I スタディノート、ワークブック コーパス3000 (東京書籍) Tetra 1 (啓隆社)					
<b>3. 学習項目 (学習内容)</b>					
学期	月	単元・学習内容	学習の留意点 評価のポイント	時間数	考査
1	4	Lesson1 Japan's New Tourism	・動詞の現在形・過去形/進行形、助動詞について理解しているか ・自分が住む街の魅力を紹介する	普15 商20	中間考査
	5				
	6	Lesson2 Light from Creatures	・受け身・現在完了形/現在完了進行形を理解し、光る生き物の特徴について調べ資料を用いて説明する ・動詞・不定詞・SVO (that節)を理解し、好きなスポーツ選手について理由を述べて説明する	普15 商20	期末考査
2	7	Lesson3 Routes to the Top			
	8	Lesson4 Left to Light, Right?	・後置修飾の原形分詞/過去分詞・比較級/最上級を理解し、漫画の縦書き横書きの良さを比較しながら意見を述べる ・関係代名詞の主格や目的格、seem to~を理解し、バナナペーパーの販売用チラシを作る	普28 商37	中間考査
	9	Lesson5 Banana Paper			
	10	Lesson6 Patterns in Human Behavior Lesson7 No Plastic or No Future Lesson8 Oh My God!	・It...that構文・SVC・SVOCを理解しながら、買い過ぎを防ぐ方法を考え理由を説明する ・関係副詞where/whenと関係代名詞whatを理解し、プラゴミがもたらす環境問題について新聞記事を書く ・現在分詞の分詞構文・関係代名詞の非制限用法・過去完了を理解し、漁獲量のグラフからマダゴロの現状について発表する	普29 商38	期末考査
	11				
12					
3	1	Lesson9 Is E-sports a Real Sport?	・知覚動詞と使役動詞・SVOCを理解し、eスポーツクラブ設立に関し意見の異なる相手を説得する	普10 商15	中間考査
	2	Lesson10 Being Different Is Beautiful			
	3		・様々な仮定法過去(wish / as if / if)を使い、写真家ヨシダナギさんの生き方や作品について感想を伝える	普8 商10	期末考査
<b>4. 評価の観点</b>					
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行いコミュニケーションを図ろうと				
②思考・判断・表現	学習内容や他者の意見について考え、判断し、自分の言葉で表現しているか。				
③技能	基礎的な英語力を身に付け、コミュニケーション活動で適切に使えるか。				
④知識・理解	言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、背景にある文化などを理解して				
<b>5. 評価の方法</b>					
・定期考査：	中間考査3回、期末考査3回				
・課 題：	単語テスト (週1回)、その他の小テスト				
・授業態度：	授業態度、出欠状況、課題提出物、その他課題 (グループワークなど) の取り組み等				
・実験レポート：	グループ発表、個人発表、レポート				
・実技テスト：	音読テスト、プレゼンテーション (各学期1回)				
<b>6. 学習にあたっての注意とアドバイス</b>					
基礎的な学習として、まずは単語を多く覚えましょう。知っている単語が多ければ多いほど、英文や会話の理解度は増していきます。一度覚えてしまうと何度も繰り返し同じ表現や単語が出てきて、理解をする毎に、嬉しく感じたり自信を感じられる教科だと思います。変化する入試形態に対応するために、発表やグループワーク、音読にも力を入れていきます。間違えても大丈夫。みんなで英語をたくさん声に出していきましょう。					